



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所
 コード番号 6125 URL <http://www.okamoto.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 常路

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,038	10.8	36	87.8	12	94.1	42	
2020年3月期第1四半期	6,768	1.5	300	42.9	210	53.2	87	74.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 121百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 51百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	10.63	
2020年3月期第1四半期	21.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	33,028	13,031	39.5
2020年3月期	34,164	13,110	38.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 13,031百万円 2020年3月期 13,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		50.00		50.00	100.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	13.3	700	53.3	630	52.4	430	60.0	107.42
通期	30,000	12.5	1,500	42.1	1,330	45.0	900	43.1	224.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	4,717,895 株	2020年3月期	4,717,895 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	715,203 株	2020年3月期	715,085 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	4,002,768 株	2020年3月期1Q	4,003,910 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴い、各国政府が感染防止の措置を講じたことで、企業活動や個人消費が急速に停滞し、景気の減速傾向が一層強まっております。

わが国経済におきましても、緊急事態宣言は解除されたものの、経済活動の再開には慎重な姿勢を継続しているため、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中で当社グループは、中期経営計画「SHINKA2022」の2年目として、安定した収益を確保できる企業を目指し、業績の向上に努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により各国での営業活動が制限されることとなりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は6,038百万円（前年同期比10.8%減）、営業利益は36百万円（前年同期比87.8%減）、経常利益は12百万円（前年同期比94.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は42百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益87百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①工作機械

国内市場におきましては、移動制限による経済活動の停滞や、前年度から続く米中貿易摩擦の影響など、設備投資には慎重な姿勢がみられております。売上につきましては、機械納期の延期もあり、前年同期を下回りました。受注につきましては、「ものづくり補助金」の採択案件はありましたが、営業活動が停滞したため、低調な結果となりました。

海外市場におきましても、各地域での感染対策の影響が顕著にみられました。米国では前年度から好調である医療機器業界からの受注はあったものの、全体的に景気は厳しい状況にあり、売上、受注ともに低迷いたしました。欧州では前期に受注した大型平面研削盤の販売があり、売上は前年同期並みとなりましたが、受注は下回りました。アジア市場でも、売上、受注ともに大きく減少しておりますが、中国におきましては、景気は緩やかな回復基調にあります。

以上の結果、売上高は4,215百万円（前年同期比22.8%減）、セグメント損失（営業損失）は193百万円（前年同期はセグメント利益204百万円）となりました。

②半導体関連装置

半導体市場におきましては、緩やかな回復基調で推移しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きが不透明な状況となりました。一方、感染対策として世界各国で普及した在宅勤務などのライフスタイルの変化により半導体デバイスの需要増加が予想されます。

このような状況の中で当社グループは、ポリッシュ装置の販売増加に向けて、プロセス開発などの諸施策を前期より継続してまいりました。その結果、国内および東アジアにおいて、ウェーハ生産用のファイナルポリッシャーやラップ盤の拡販につなげることができました。受注につきましては、前期後半からの半導体業界の設備投資意欲が継続しており、国内、東アジア向けにファイナルポリッシャーの受注が好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,823百万円（前年同期比39.0%増）、セグメント利益（営業利益）は470百万円（前年同期比56.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,136百万円減少し、33,028百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が693百万円、たな卸資産が149百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が2,022百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して1,057百万円減少し、19,996百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が667百万円、短期借入金207百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が297百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して79百万円減少し、13,031百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が159百万円増加した一方で、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少42百万円、配当金の支払いによる減少200百万円等により242百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.4%から39.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、2020年5月15日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,400	4,093
受取手形及び売掛金	8,576	6,553
商品及び製品	2,478	2,576
仕掛品	5,374	5,550
原材料及び貯蔵品	2,634	2,510
その他	400	392
貸倒引当金	△71	△64
流動資産合計	22,793	21,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,679	3,702
機械装置及び運搬具(純額)	2,640	2,588
その他(純額)	3,668	3,711
有形固定資産合計	9,989	10,003
無形固定資産		
	95	109
投資その他の資産		
投資有価証券	67	71
退職給付に係る資産	382	396
その他	855	851
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	1,286	1,301
固定資産合計	11,371	11,414
資産合計	34,164	33,028
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,672	3,005
短期借入金	8,113	7,905
1年内返済予定の長期借入金	1,095	1,055
未払法人税等	175	234
賞与引当金	374	216
製品保証引当金	51	49
その他	2,817	2,994
流動負債合計	16,300	15,460
固定負債		
長期借入金	2,675	2,418
退職給付に係る負債	897	932
資産除去債務	123	123
その他	1,056	1,061
固定負債合計	4,753	4,536
負債合計	21,053	19,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
利益剰余金	12,166	11,923
自己株式	△3,078	△3,078
株主資本合計	13,968	13,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15	△10
為替換算調整勘定	△812	△653
退職給付に係る調整累計額	△29	△29
その他の包括利益累計額合計	△857	△693
純資産合計	13,110	13,031
負債純資産合計	34,164	33,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	6,768	6,038
売上原価	4,634	4,469
売上総利益	2,133	1,569
販売費及び一般管理費	1,833	1,532
営業利益	300	36
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	1	1
助成金収入	6	73
物品売却益	6	4
その他	4	8
営業外収益合計	21	88
営業外費用		
支払利息	44	40
支払手数料	3	2
為替差損	43	56
その他	19	13
営業外費用合計	111	113
経常利益	210	12
税金等調整前四半期純利益	210	12
法人税等	123	54
四半期純利益又は四半期純損失(△)	87	△42
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	87	△42

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	87	△42
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	4
為替換算調整勘定	△130	159
退職給付に係る調整額	△2	△0
その他の包括利益合計	△138	163
四半期包括利益	△51	121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△51	121

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,457	1,311	6,768	—	6,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,457	1,311	6,768	—	6,768
セグメント利益	204	301	505	△205	300

(注) 1. セグメント利益の調整額△205百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,215	1,823	6,038	—	6,038
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,215	1,823	6,038	—	6,038
セグメント利益又は損失 (△)	△193	470	276	△239	36

(注) 1. セグメント利益の調整額△239百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	3,520	61.8	7,916	61.9
半導体関連装置	3,312	377.9	7,230	64.1
合計	6,833	103.9	15,146	62.9

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	4,215	77.2
半導体関連装置	1,823	139.0
合計	6,038	89.2

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。